

1. 特に効果的であり改善に資した事例

F. その他

④その他

④その他

《理工農系》

●静岡大学情報学研究科情報学専攻

「マニフェストに基づく実践的IT人材の育成」の事例

＜学生の自己マニフェストによる学習・研究・キャリアデザインの動機付け＞

(具体的に何を実施したのか)

「基礎学力」「研究力」「キャリアデザイン力」「組織運営力」「国際適応力」を備えた「スーパー五力人材（博士課程）・五力人材（修士課程）」を育成するために、研究科マニフェスト（研究科から学生への約束）とともに、学生自身に自己マニフェストを書かせ、それを研究科在学期間だけでなく、修了後のキャリアデザインの目標にするようにした。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

自己マニフェスト作成にあたって、新入学時点で1泊2日の「新入生合宿研修」を大学外施設で行い、研究科の人材育成目標、研究科マニフェスト、キャリアデザインに関する講演を実施するとともに、新入生時点での自己マニフェストを学生自身に作成させた。その後、学生には自己マニフェストを研究室などに掲示して、日々、マニフェストの志を新たにするように指導した。さらに指導教員を通じて自己マニフェストの見直しをアドバイスし、国内外インターンシップ、JRA（修士課程学生＝ジュニアリサーチアシスタント）・RA募集の際の必要書類とした。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

修士課程入学時に自己マニフェストを書くことによって、キャリアの目標を定め、どのように勉学・研究を進め、「国内外インターンシップ」「学生主体活動」などにどのように参加して能力を身につければ良いか明確な指針にできた。修士課程修了時点のアンケートによると、60%の学生が自己マニフェストを「よく実現できた」、「まあまあ実現できた」、50%超の学生が「役に立つ」「まあまあ役に立つ」と回答し、教育の手段としての自己マニフェストの有用性が確かめられた。

《医療系》

●筑波大学人間総合科学研究科疾患制御医学専攻

「個性とキャリアを繋ぐ医科学教育ルネサンス」の事例

＜武者修行型国際化教育＞

(具体的に何を実施したのか)

国際的な研究者としての必須の資質を早期に涵養することを目的として、国内外の世界一級の先進医療・研究設備および企業での共同研究等の実施、国際会議に出席し、海外の研究者と交流するとともに世界最先端の研究情報を収集、および国際的なトレーニングコースに出席して実験技術を磨くことを実施した。短期派遣留学として、筑波大学大学院生

1. 特に効果的であり改善に資した事例

F. その他

④その他

が国立台湾大学を訪問し、ラボローテーション、研究室見学と実験、および CBT (Center for Biotechnology) サマーコース事業に参加した。また、インターネット回線を使った筑波大学と国立台湾大学の相互交信型の講義（ロングディスタンスレクチャー）を実施した。また、既に交流締結を完了しているベトナム、これからその可能性のあるボルドー第二大学、エディンバラ大学、国立台湾大学の教員および大学院生を招聘して、Leading Graduate Schools International Conference をつくば国際会議場で開催した。

**(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)**

国内外の大学や研究機関に筑波大学医学系専攻の教育研究活動を理解させるために、PR-DVD（全編 20 分程度）の作成を行った。海外武者修行を終えた大学院生は、帰国後に活動内容をレポートで提出し、かつ報告会で発表した。国立台湾大学へ短期留学した大学院生は、現地では英語で活動内容を報告した。ロングディスタンスレクチャーでの使用言語は英語で、国立台湾大学および筑波大学教員、大学院生による論文発表と討論等を行った。最終的に「国際実践医学研究特論」の履修単位を与えるシステムを構築した。海外研究協力インターンシップに参加した大学院生は、ベトナムにおける人々の意識調査および環境調査や ChoRay Hospital における病院研究以外に、Institute of Tropical Biology において、現地の学生やスタッフに対して分子生物学実習のサポートを実施した。

**(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)**

このプログラムで支援された研究協力インターンシップ、国際学会参加、国立台湾大学への短期派遣留学や自立型学外学修武者修行等を通して、大学院生の国際性、先端性および学際性が涵養された。医学系 PR-DVD（日本語および英語版）は、ベトナムでの学外学修武者修行、筑波大学の紹介、医学系専攻の紹介等で構成されており、国内外に本プログラムの内容も含めた生命システム医学専攻、疾患制御医学専攻およびフロンティア医科学専攻に関する広報活動に有効であった。Leading Graduate Schools International Conference を開催した結果、ベトナムに加えて国立台湾大学との交流締結も完了した。今後は、ボルドー第二大学、エディンバラ大学だけでなく、欧州や米国との交流も進めていく。